

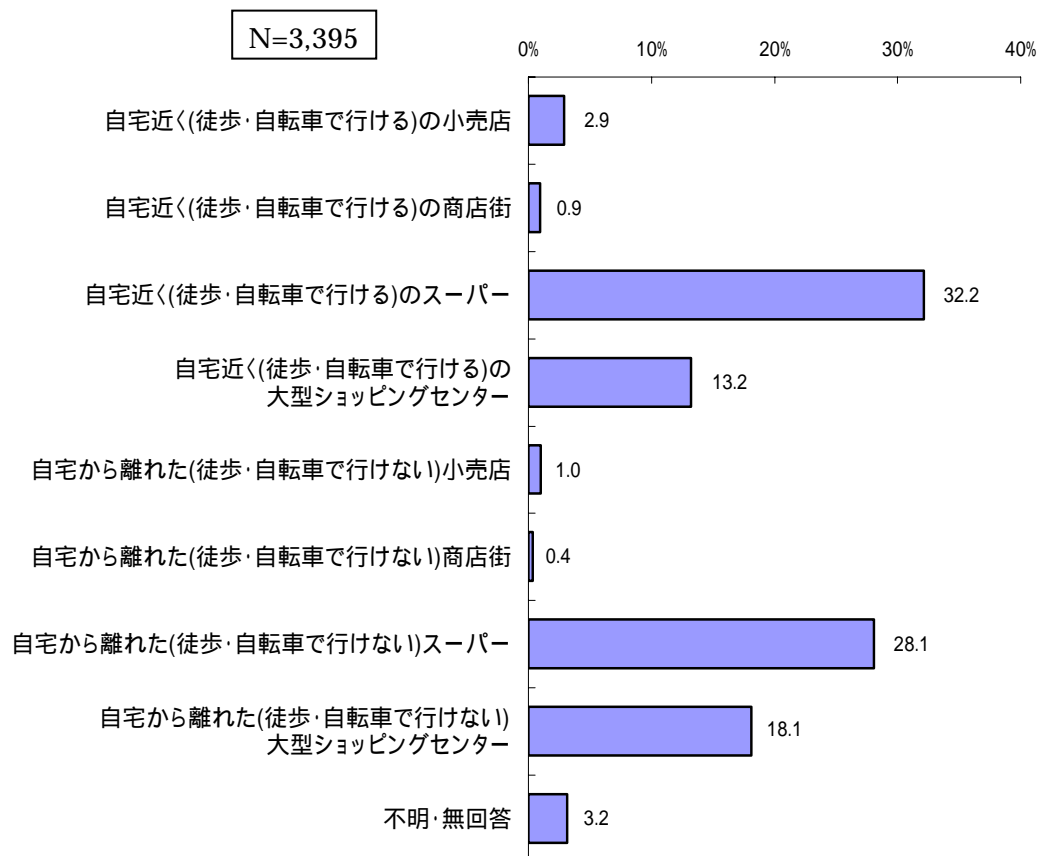
5. まちの中心部の活性化と大型店のあり方

(1) よく訪れる買物先

問18 あなたが日頃、一番よく訪れる買物先はどこですか。(は1つだけ)

日頃一番よく訪れる買い物先は「自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー」で32.2%

日頃訪れることの最も多い買い物先は、「自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー」で32.2%、次いで「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー」(28.1%)、「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター」(18.1%)となっている。



【地域別】

湖北・湖西を除く地域では、「自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー」が1位、「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー」が2位、「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター」が3位、「自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター」が4位となっている。湖北・湖西地域では「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー」が1位となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
大津地域 (N = 816)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	35.8%	27.0%	16.9%	11.0%	3.4%
湖南地域 (N = 736)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	37.0%	25.5%	18.5%	12.8%	1.4%
甲賀地域 (N = 276)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	37.0%	32.6%	13.0%	8.0%	2.9%
東近江地域 (N = 640)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター/自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター		自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	31.9%	23.8%		18.4%	3.8%
湖東地域 (N = 364)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	31.9%	24.2%	19.8%	14.8%	3.3%
湖北地域 (N = 404)	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	34.2%	21.8%	18.3%	15.8%	3.5%
湖西地域 (N = 158)	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の商店街
	49.4%	20.3%	17.1%	4.4%	2.5%

【性別】

男女ともに1位から5位まで同じ項目となっている。1位の「自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー」では、女性(35.8%)が男性(28.3%)より7.5ポイント高くなっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,643)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	28.3%	26.0%	22.1%	14.1%	3.7%
女性 (N=1,669)	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー	自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の大型ショッピングセンター	自宅近く(徒歩・自転車で行ける)の小売店
	35.8%	30.4%	14.4%	12.3%	2.2%

【性・年代別】

男性の20歳代では「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)大型ショッピングセンター」が最も多く、男女ともに50歳代は「自宅から離れた(徒歩・自転車で行けない)スーパー」が最も多くなっている。男性の30・40歳代、60歳以上、女性の50歳代を除くすべての年代で「自宅近く(徒歩・自転車で行ける)のスーパー」が、最も多くなっている。

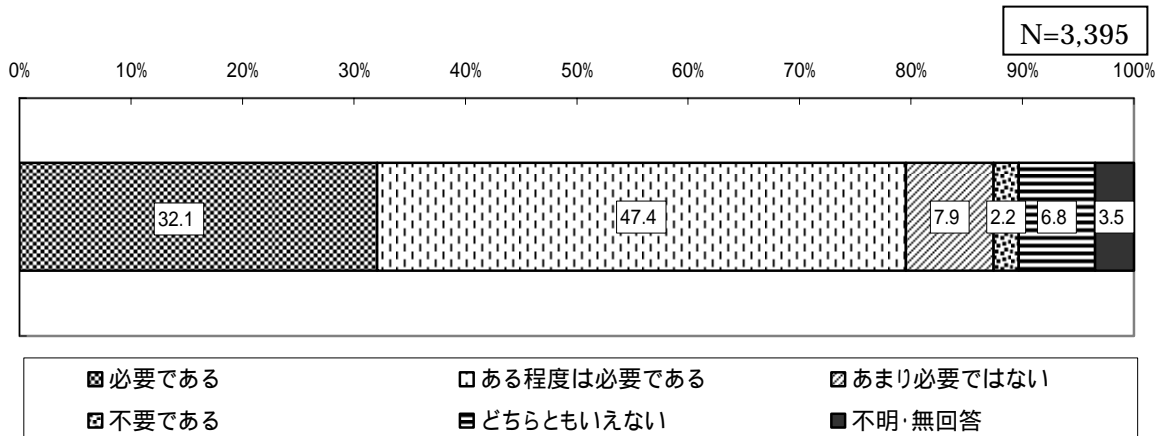
(2)「中心市街地」を活性化する取り組み

活性化に対する姿勢

問 19 商業のみならず居住、子育て、高齢者福祉の場でもあり、まちの中心部である「中心市街地」を活性化する取り組みについて、どのようにお考えですか。(は1つだけ)

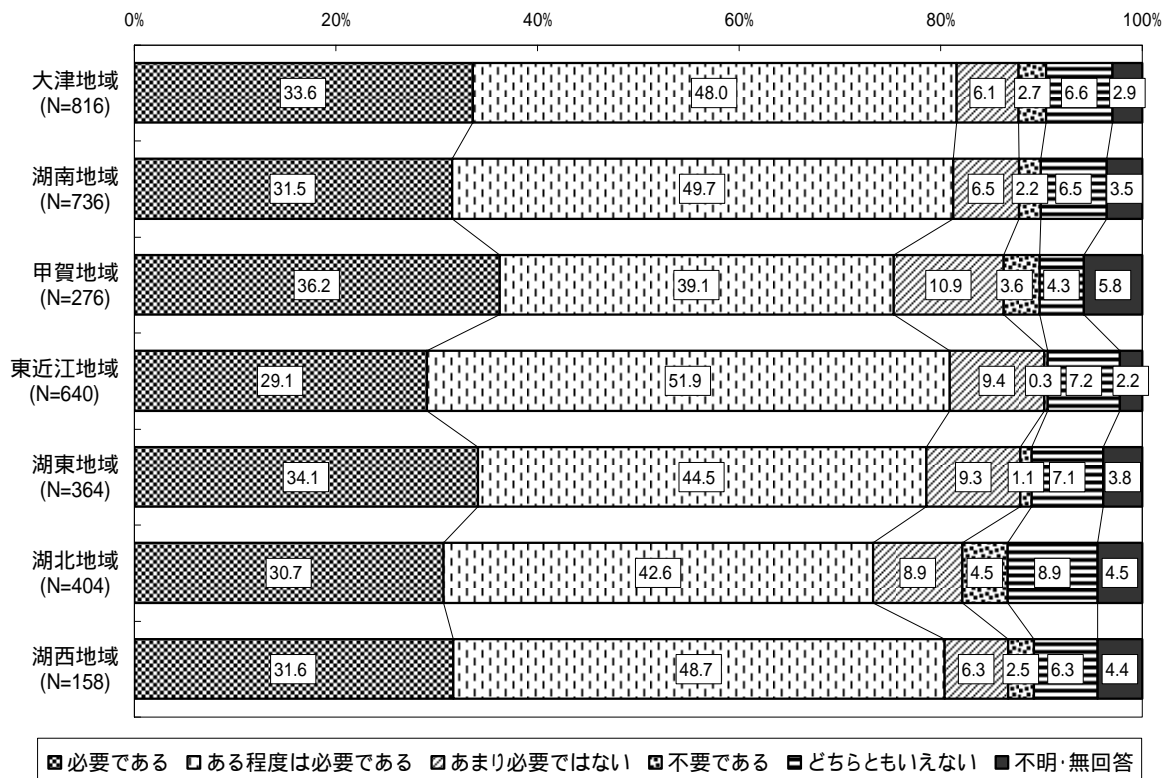
「中心市街地」を活性化する取り組みについては、「ある程度は必要である」が47.4%

商業・居住・子育て・高齢者福祉の場である「中心市街地」を活性化する取り組みについては、「ある程度は必要である」が最も多く47.4%、次いで「必要である」が32.1%となっている。また『必要である』（「必要である」と「ある程度は必要である」の合計）は79.5%となっている。



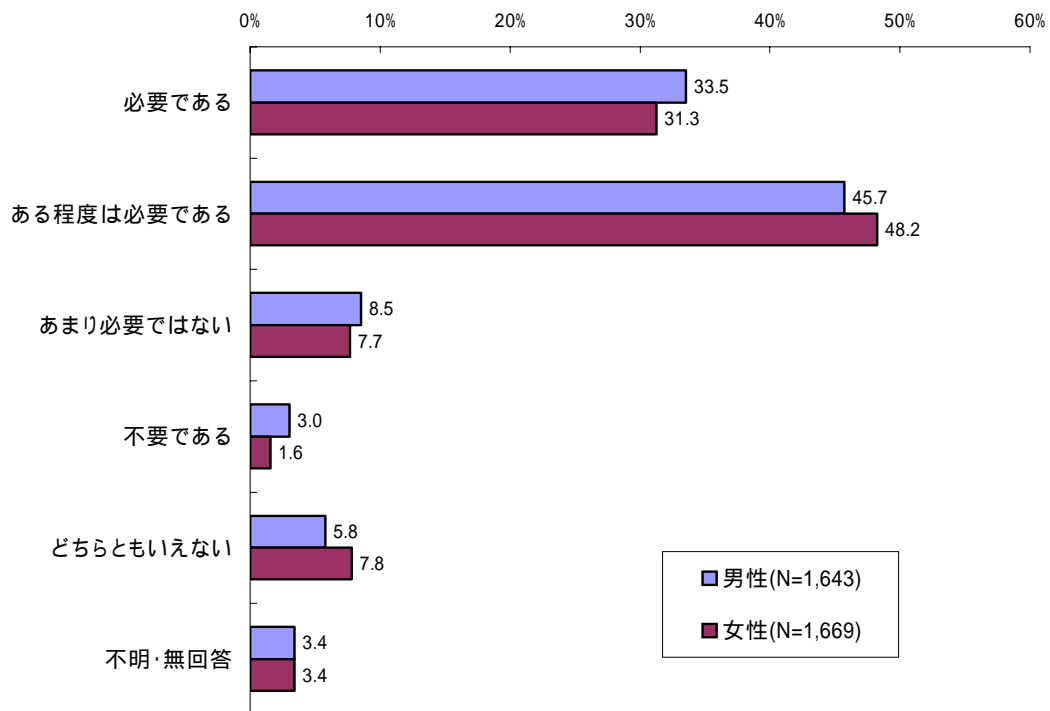
【地域別】

いずれの地域においても「ある程度は必要である」が最も多く、なかでも東近江地域が他の地域に比べて高く51.9%、次いで湖南地域が49.7%となっている。「必要である」では甲賀地域が最も高く36.2%となっている。また、「不要である」は東近江地域が0.3%で最も低くなっている。



【性別】

「必要である」は男性が 33.5%、女性が 31.3%で、男性のほうが 2.2 ポイント高くなっている。「ある程度は必要である」では女性が 48.2%、男性が 45.7%となっており、女性のほうが 2.5 ポイント高くなっている。男女ともに『必要である』は約 8 割となっている。



【性・年代別】

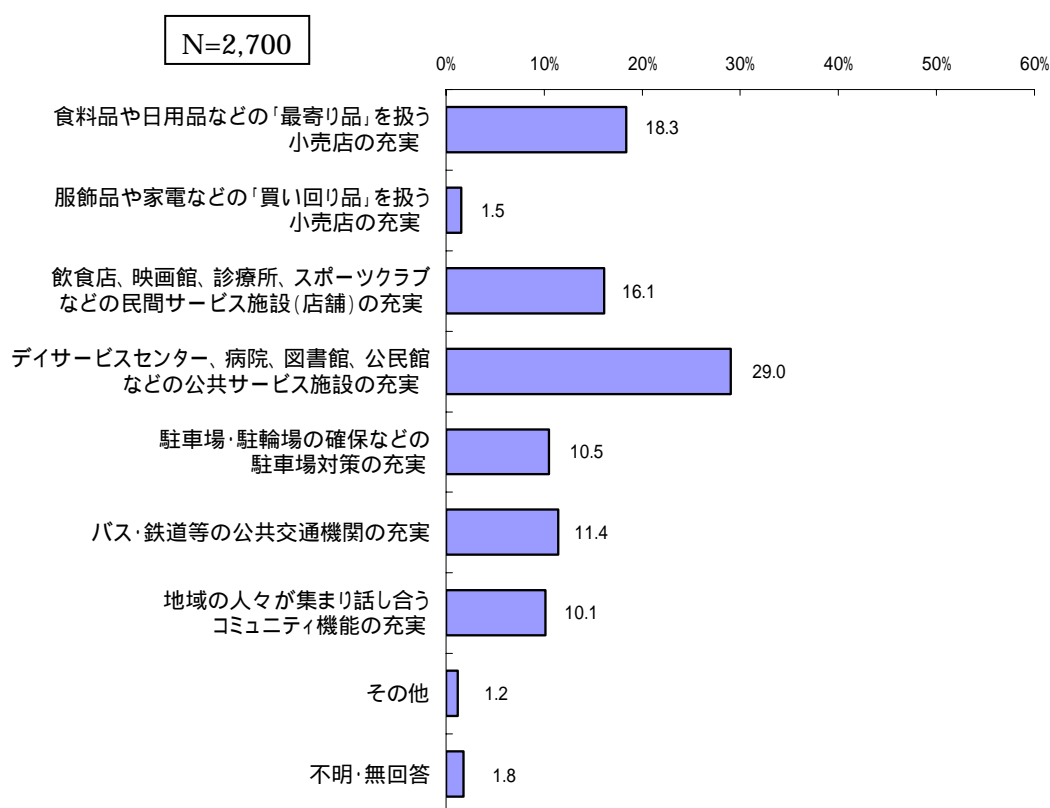
男女ともすべての年代において「ある程度は必要である」が最も多く、男性では 40 歳代の 50.2%、女性では 50 歳代の 53.2%が最も高くなっている。「必要である」は男性は 70 歳以上、女性は 20 歳代が最も多い。

活性化を必要とする分野

付問1 問19で「1 必要である」または「2 ある程度は必要である」と回答された方におたずねします。どの分野での活性化が必要だと思いますか。
最も必要だと思うものをこの中から1つ選んでください。

活性化が最も必要だと思う分野は「デイサービスセンター、病院、図書館、公民館などの公共サービス施設の充実」が29.0%

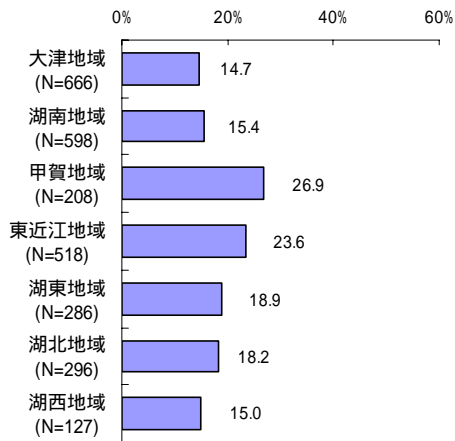
活性化が最も必要だと思う分野については、「デイサービスセンター、病院、図書館、公民館などの公共サービス施設の充実」が29.0%で最も多く、次いで「食料品や日用品などの「最寄り品」を扱う小売店の充実」が18.3%、「飲食店、映画館、診療所、スポーツクラブなどの民間サービス施設（店舗）の充実」が16.1%と続いている。



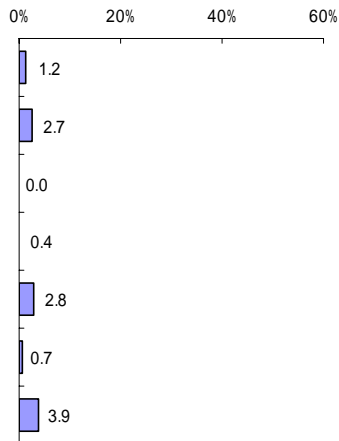
【地域別】

いずれの地域においても「デイサービスセンター、病院、図書館、公民館などの公共サービス施設の充実」が最も多く、次いで、甲賀・東近江・湖東地域では「食料品や日用品などの「最寄り品」を扱う小売店の充実」が、大津・湖北・湖西地域では「飲食店、映画館、診療所、スポーツクラブなどの民間サービス施設（店舗）の充実」となっている。また、甲賀地域では他の地域に比べ「バス・鉄道等の公共交通機関の充実」が17.3%で最も多く、「駐車場・駐輪場の確保などの駐車場対策の充実」が2.9%で最も低くなっている。

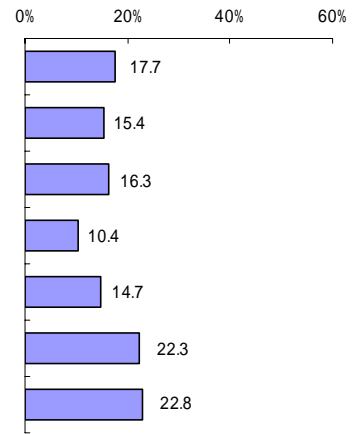
食料品や日用品などの「最寄り品」を扱う小売店の充実



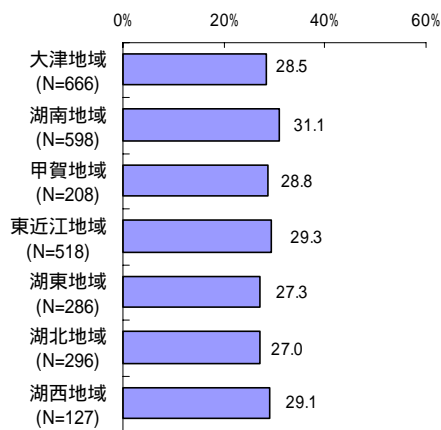
服飾品や家電などの「買い回り品」を扱う小売店の充実



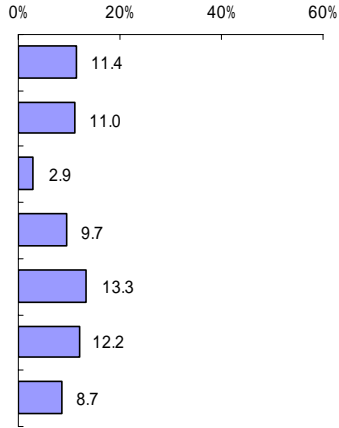
飲食店、映画館、診療所、スポーツクラブなどの民間サービス施設(店舗)の充実



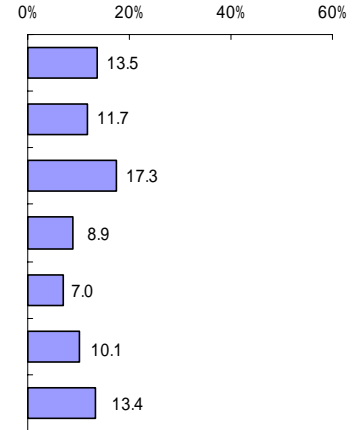
デイサービスセンター、病院、図書館、公民館などの公共サービス施設の充実



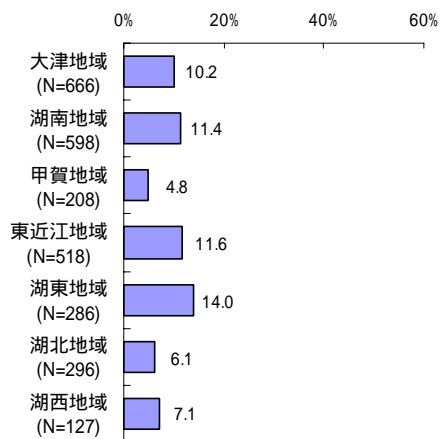
駐車場・駐輪場の確保などの駐車場対策の充実



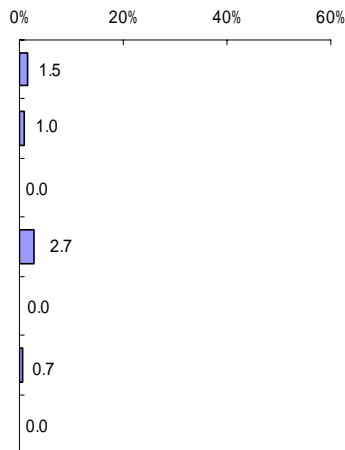
バス・鉄道等の公共交通機関の充実



地域の人々が集まり話し合うコミュニティ機能の充実

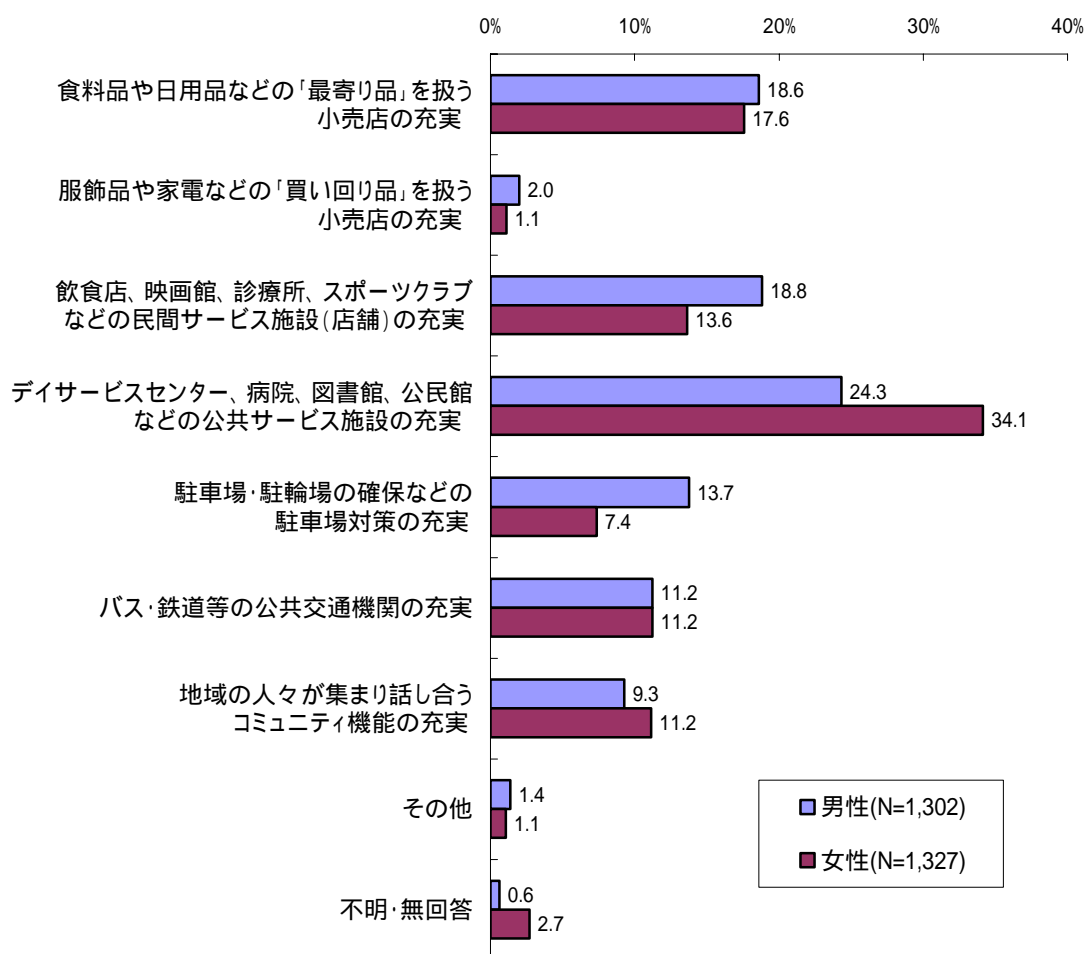


その他



【性別】

「デイサービスセンター、病院、図書館、公民館などの公共サービス施設の充実」が男女ともに最も多く、女性は男性より 9.8 ポイント高い。また、「飲食店、映画館、診療所、スポーツクラブなどの民間サービス施設（店舗）の充実」、「駐車場・駐輪場の確保などの駐車場対策の充実」で、男性は女性に比べ 5～6 ポイント高くなっている。



【性・年代別】

男性の 20 歳代では「飲食店、映画館、診療所、スポーツクラブなどの民間サービス施設（店舗）の充実」が、男性の 30～60 歳代および女性の 70 歳以上を除くすべての年代において「デイサービスセンター、病院、図書館、公民館などの公共サービス施設の充実」が、男女ともに 70 歳以上は「食料品や日用品などの「最寄り品」を扱う小売店の充実」が最も多い。

(3) 新規出店する大型店に対する規制

規制の必要性

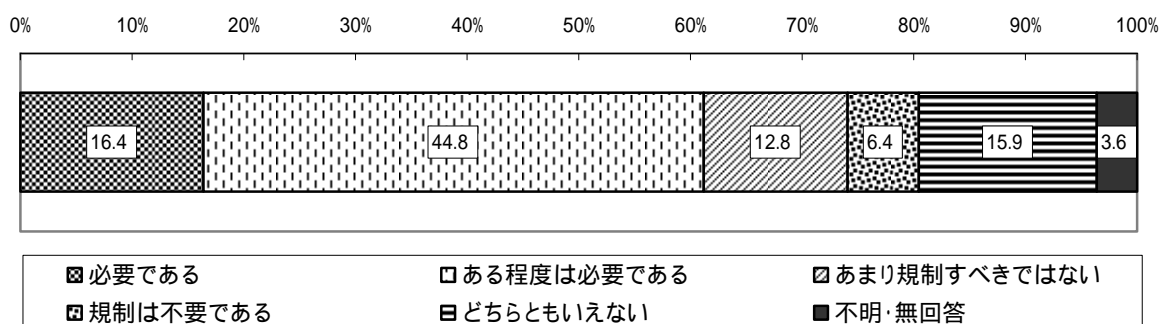
問 20 今年 11 月の改正都市計画法の全面施行により、床面積 10,000 m²を超える大型店を含む大規模集客施設の立地については一定の規制がかかることになります。

あなたは、郊外に新規出店する大型店について、この規制より厳しい規制が必要だと思いますか。(は1つだけ)

郊外に新規出店する大型店に対するより厳しい規制は、「ある程度は必要である」が 44.8%

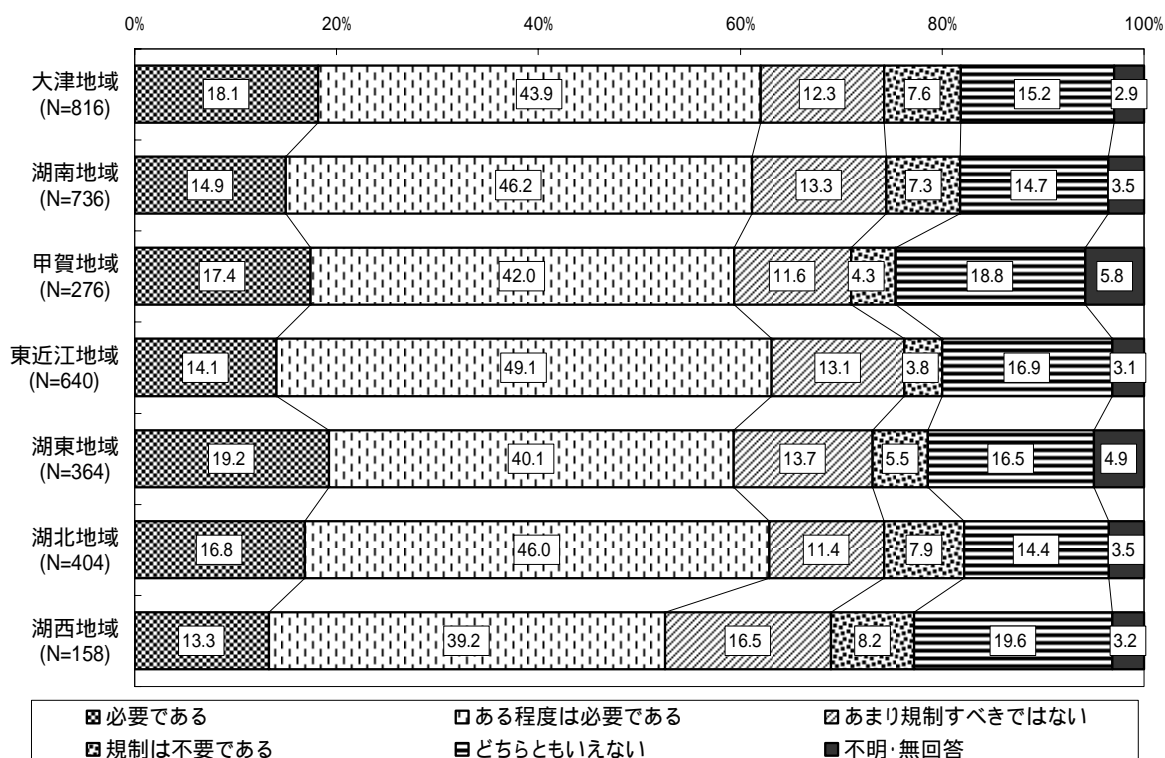
郊外に新規出店する大型店に対し、現行の規制よりも厳しい規制の必要性については、「ある程度は必要である」が 44.8%で最も多く、『必要である』(「必要である」と「ある程度は必要である」の合計)は 61.2%となっている。また『不要である』(「規制は不要である」と「あまり規制すべきではない」の合計)は 19.2%となっている。

N=3,395



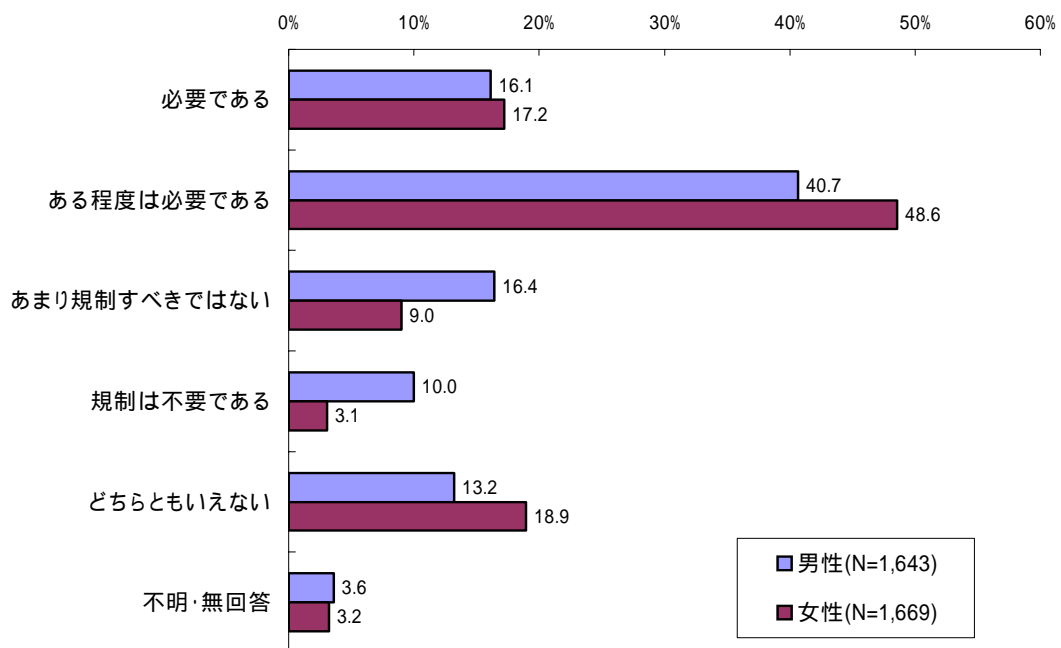
【地域別】

いずれの地域においても「ある程度は必要である」が最も多い。また「必要である」は湖東地域の 19.2%が、「あまり規制すべきではない」は湖西地域の 16.5%が最も高くなっている。



【性別】

男女ともに「ある程度は必要である」が最も多く、それぞれ4割を超えている。『必要である』では女性のほうが9.0ポイント高く、『不要である』では男性のほうが14.4ポイント高くなっている。



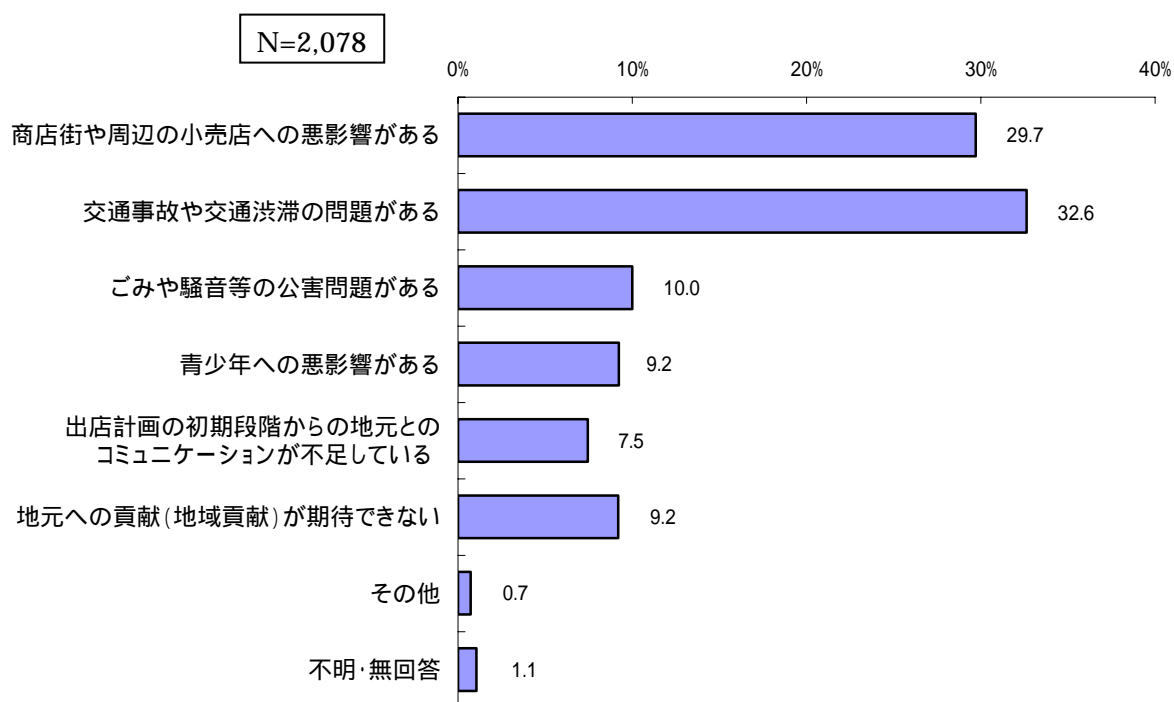
【性・年代別】

「必要である」が男女ともに60歳代で最も多く、「ある程度は必要である」は女性の50歳代、「あまり規制すべきではない」は男性の30歳代、「規制は不要である」は男性の20歳代が最も多い。また『不要である』では、年代が高くなるほど割合が低下する傾向にある。

新規出店する大型店への規制が必要な理由

付問1 問20で「1 必要である」または「2 ある程度は必要である」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。(は1つだけ)

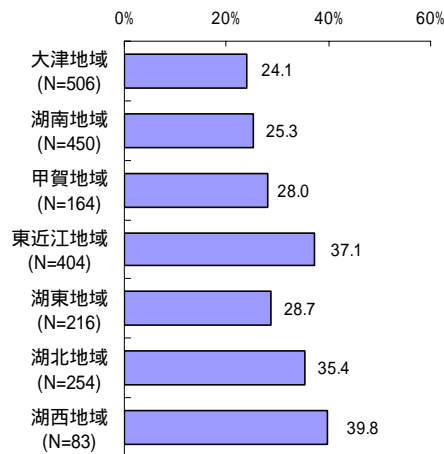
新規出店する大型店に対する規制が必要な理由は、「交通事故や交通渋滞の問題がある」が32.6%。規制が必要な理由については、「交通事故や交通渋滞の問題がある」が最も多く32.6%、以下「商店街や周辺の小売店への悪影響がある」(29.7%)、「ごみや騒音等の公害問題がある」(10.0%)と続いている。



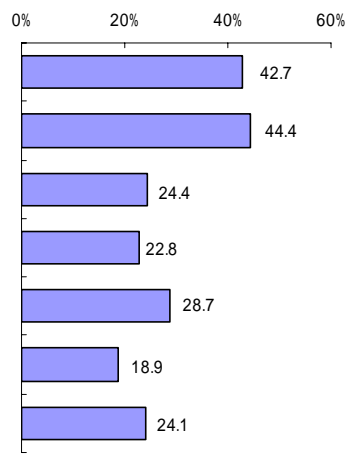
【地域別】

大津・湖南地域では「交通事故や交通渋滞の問題がある」が4割を超え最も多く、その他地域では「商店街や周辺の小売店への悪影響がある」が最も多い(湖東地域は双方同率)。また、湖東・湖北地域では「青少年への悪影響がある」、東近江地域では「地元への貢献(地域貢献)が期待できない」が他地域に比べ多くなっている。

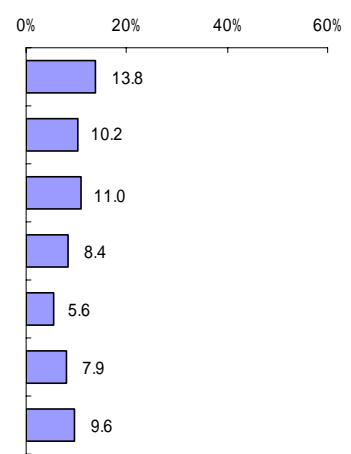
商店街や周辺の小売店への
悪影響がある



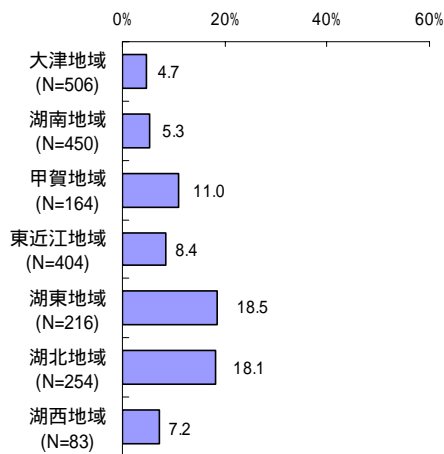
交通事故や交通渋滞の問題がある



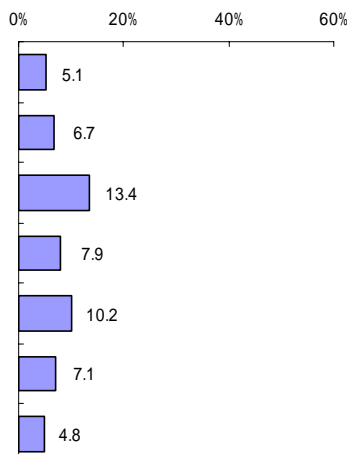
ごみや騒音等の公害問題がある



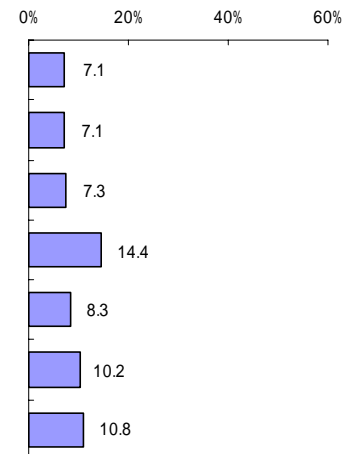
青少年への悪影響がある



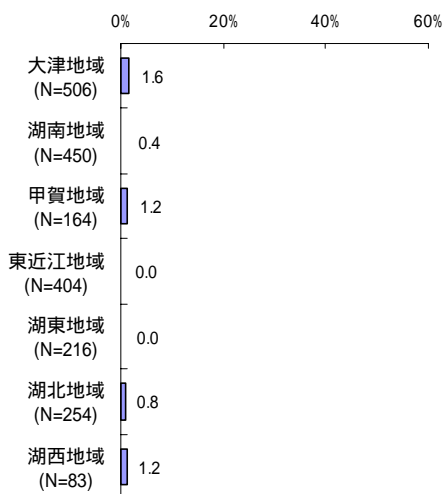
出店計画の初期段階から
の地元とのコミュニケーションが不足している



地元への貢献(地域貢献)
が期待できない

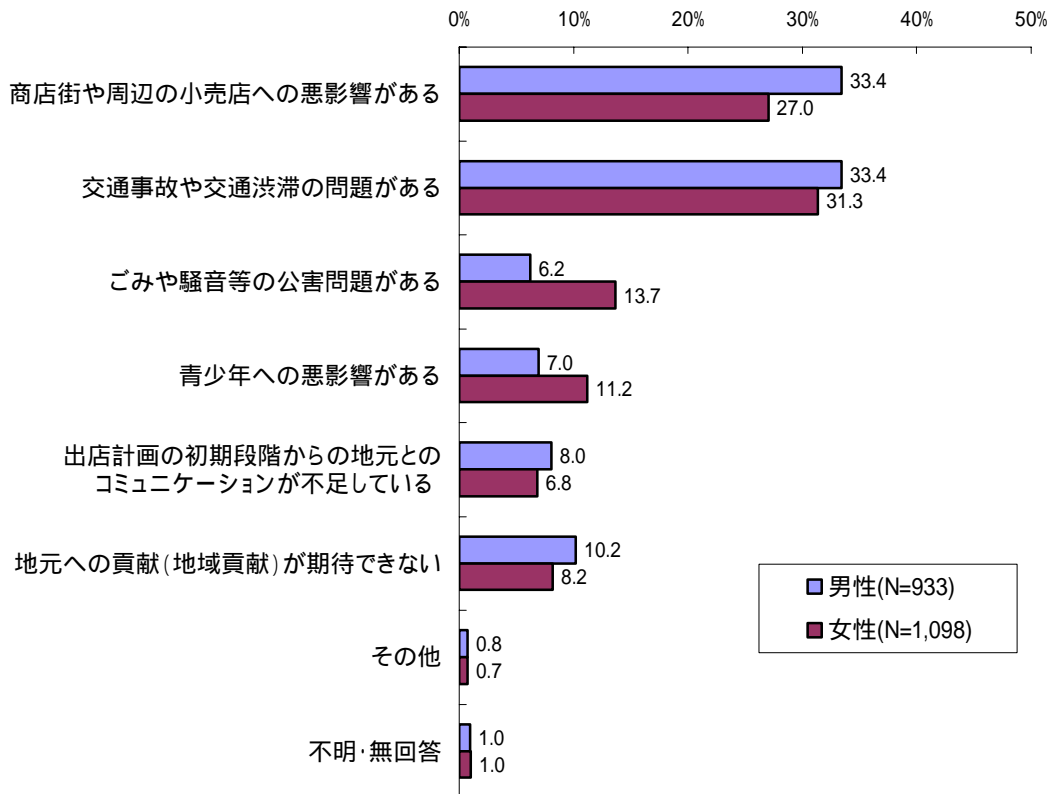


その他



【性別】

男性は「商店街や周辺の小売店への悪影響がある」と「交通事故や交通渋滞の問題がある」が33.4%と同率で最も高く、女性は「交通事故や交通渋滞の問題がある」が31.3%で最も高くなっている。また、「ごみや騒音等の公害問題がある」では女性のほうが7.5ポイント高く、男性の約2倍の割合になっている。



【性・年代別】

男性の20歳代、60歳以上、女性の60歳以上では「商店街や周辺の小売店への悪影響がある」が最も多く、男性の30～50歳代、女性の20～50歳代では「交通事故や交通渋滞の問題がある」が最も多くなっている。